

CLUSTERPRO

CLUSTERPRO X SingleServerSafe ご紹介

2007年10月

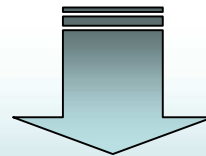
NEC

目 次

- 可用性向上のニーズ
- X SingleServerSafeのターゲット
- アピールポイント
- 監視イメージ
- 簡単インストール&設定
- 製品体系
- システム要件
- お問い合わせ先

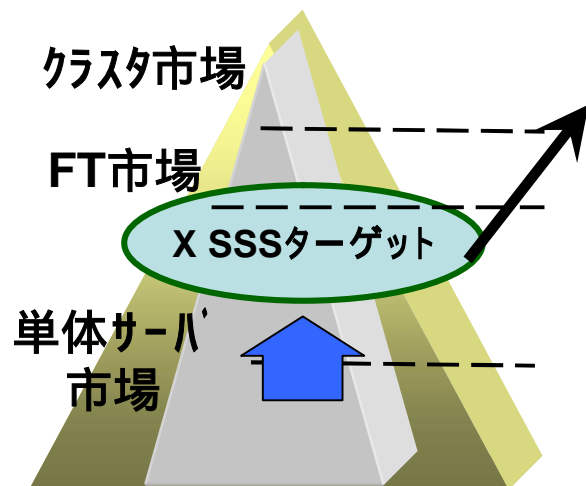
可用性向上のニーズ

- 可用性の要求は従来の基幹システム中心から、部門サーバ、店舗サーバへ拡大。
- 複雑化、高機能化する現代IT社会において、サーバダウンの影響は計り知れない。
- 近年のローエンドからミドルレンジにおけるWindowサーバ、Linuxサーバの活用は定番化し、更なる可用性、運用性向上に対するユーザのニーズは高まってきている。



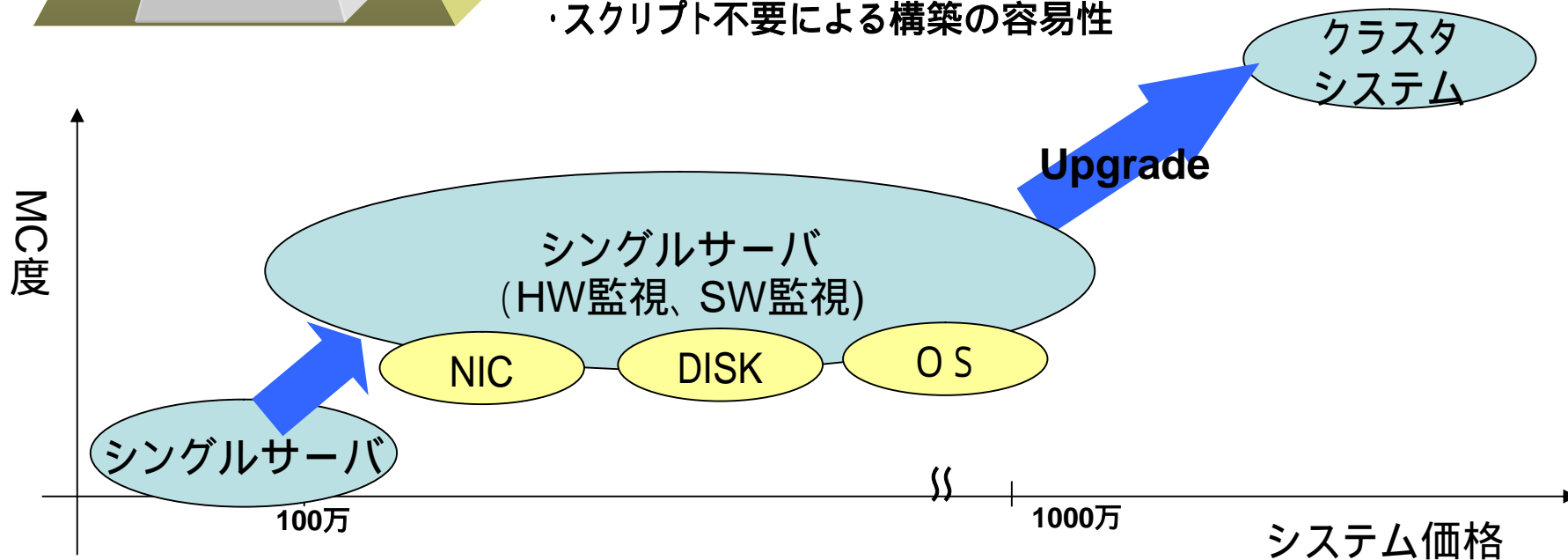
CLUSTERPRO Xのノウハウをシングルサーバへ適用
CLUSTERPRO Xで培われたノウハウを最大限利用し、
シングルサーバでも耐障害性と可用性の向上を可能に。

X SingleServerSafeのターゲット



CLUSTERPRO X SingleServerSafe

- ・シングルサーバにおいて必要なところだけ二重化を行い、可用性を向上！
- ・HW、SWの異常を監視して、復旧処理を行い、可用性を向上！
- ・HWが2重化されたFTサーバもSWの可用性を向上させてさらに高信頼サーバに！
- ・さらなる可用性向上のパスを用意 (CLUSTERPRO Xシステムへのアップグレード可能)
- ・スクリプト不要による構築の容易性

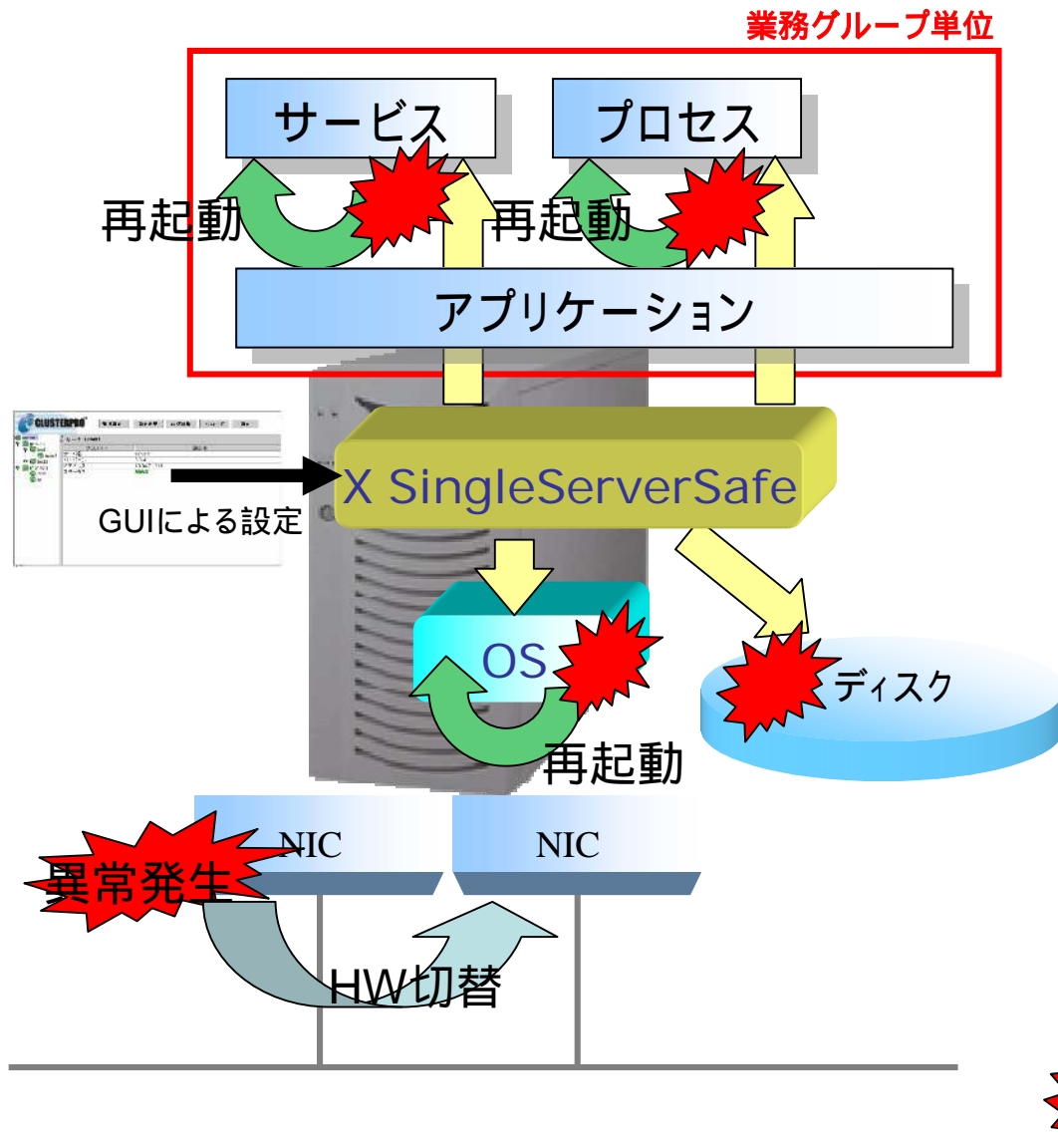


アピールポイント

- シングルサーバを支える3つのS機能
 - ✓ S サービス異常終了時に再起動ができる！
 - サービスだけでなくユーザ・プログラムの死活監視もできる！
 - ✓ S ストール検出ができる！
 - OSはもちろんアプリケーション(*)のハングアップを検出し再起動ができる！
 - ✓ S **SG**が簡単！インストールも簡単！
 - セットアップから監視開始まで約30分(Windows版)
- 監視端末の設定が不要。Webブラウザを使用して監視先サーバの状態を見ることができる
 - ✓ ブラウザでサーバに接続するだけで遠隔地からの操作も可能！
- NEC 自社開発
 - ✓ ユーザサポートも安心！

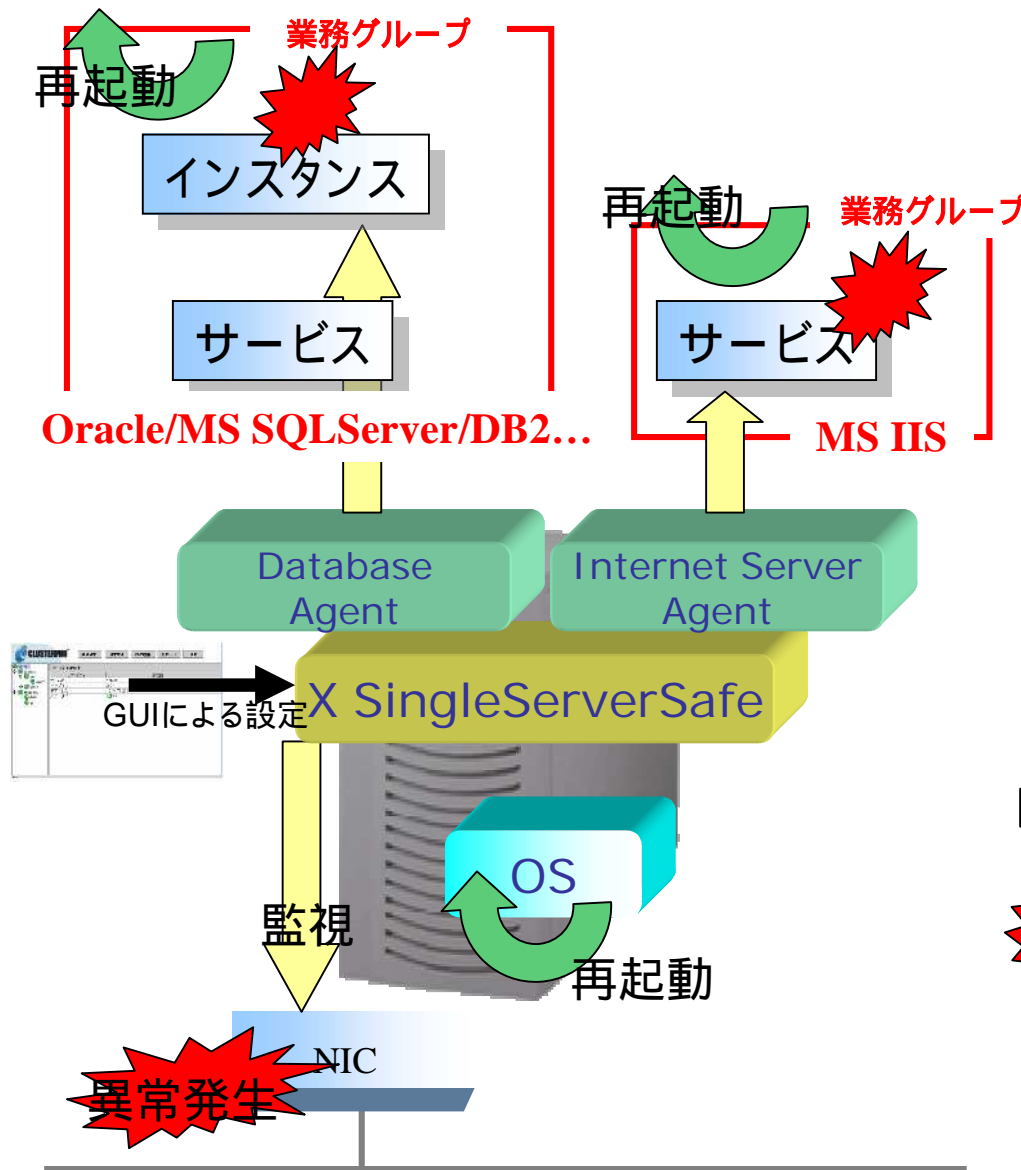
(*)オプションのCLUSTERPRO X監視Agentにより可能。

監視イメージ(1)



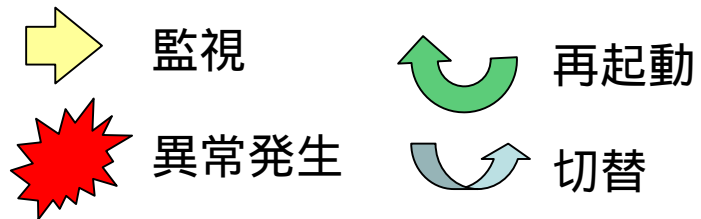
- ・OS監視を行い、ハングアップなどの異常が発生すると、再起動(リブート)をおこなう
- ・NIC監視を行い異常が発生すると、予備のNICに切り替える(Windows)
- ・ディスク監視を行い、異常が発生すると、再起動(リブート)をおこなう
- ・サービス監視を行い、異常が発生すると、サービスを再起動する。
一定回数再起動をした後に異常が発生すると、再起動(リブート)をおこなう
- ・プロセス監視を行い、異常が発生すると、プロセスを再起動する。
一定回数再起動をした後に異常が発生すると、再起動(リブート)をおこなう

監視イメージ(2)



- Database Agentと組み合わせることにより、OracleやMS SQL、DB2などのデータベースSWのハングアップを検出すると、業務グループの再起動をおこなう

- Internet Server Agentと組み合わせることにより、MS IISなどのインターネットサービスのハングアップを検出すると、業務グループの再起動をおこなう



簡単インストール&設定

■ CLUSTERPRO X 1.0と同じ設定手順、同じ操作性

✓ セットアップ

- CLUSTERPRO X SingleServerSafe
- Builder

✓ 構成情報の生成

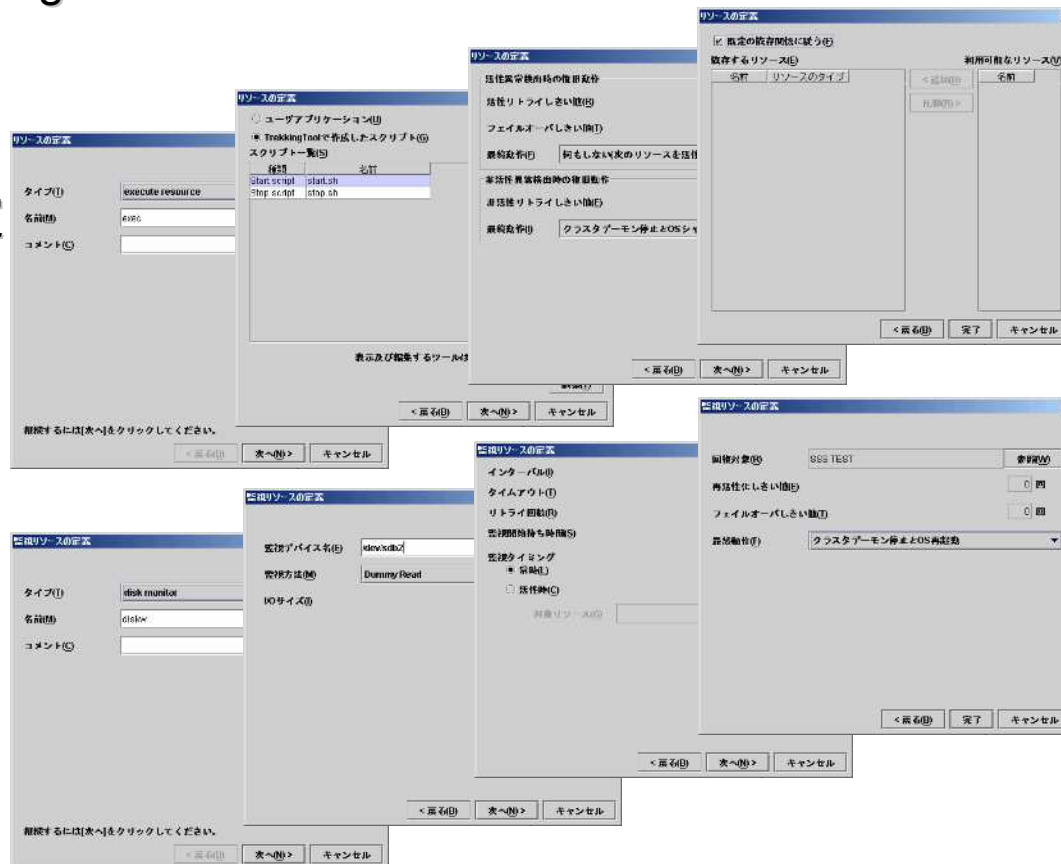
- 基本設定
- アプリケーション設定
 - アプリケーション

- 監視設定

- ユーザ空間
- ディスク
- IP
- NIC
- アプリケーション

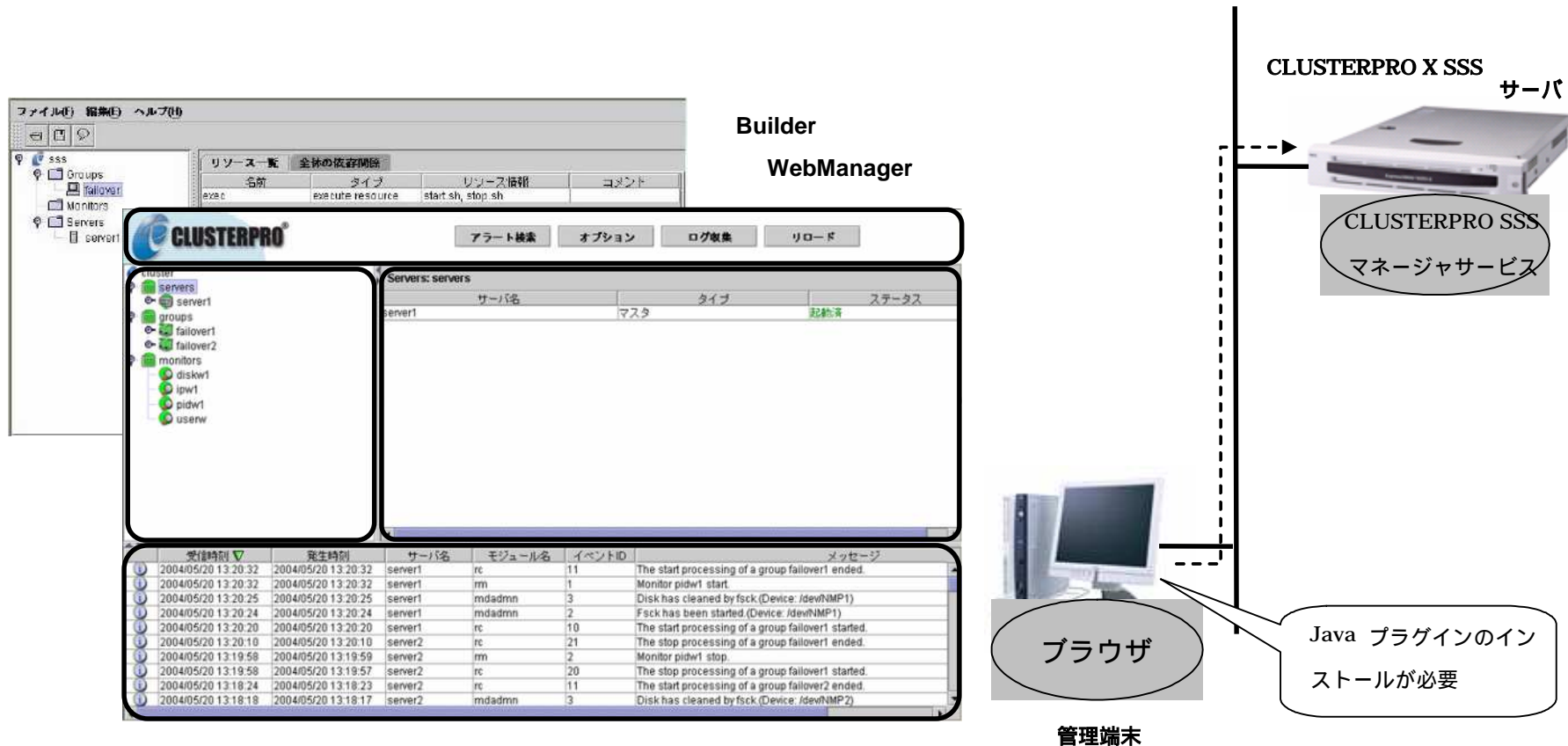
✓ ライセンス

- ライセンス登録



操作方法

- 環境構築はCLUSTERPRO Xと同じBuilderを使用
- サーバの状態監視、業務グループの起動/停止及び、動作ログの収集はWebManagerより行う



統合版WebManagerで状態参照できる

- LAN内に存在するX SingleServerSafeとクラスタ構成の両方を状態参照可能
- 個別のWebManagerを起動させることが可能

The image displays two web browser windows. The left window, titled 'Cluster List Manager - Mozilla Firefox', shows a tree view of a cluster named 'sss' containing 'server1' and 'server2'. The right window, titled 'Cluster Manager - Mozilla Firefox', shows the configuration and status for the 'sss' server. A large blue curved arrow points from the Cluster List Manager to the Cluster Manager.

Cluster List Manager - Mozilla Firefox

Cluster List

- sss
- cluster
- server1
- server2

サーバ: sss

プロパティ	値
サーバ名	sss
製品	CLUSTERPRO X SingleServer
内部バージョン	1.1.0-1
プラットフォーム	Red Hat Enterprise Linux AS
IPアドレス	192.168.0.1
ポート番号	29003
ステータス	起動済

Cluster Manager - Mozilla Firefox

サーバ: sss

名前	プロパティ	設定値
名前	sss	
コメント		
製品	製品	CLUSTERPRO X SingleServerSafe 1.0 for Linux
内部バージョン	内部バージョン	1.1.0-1
エディション	エディション	
プラットフォーム	プラットフォーム	Red Hat Enterprise Linux AS release 4 (Nahant Update 4)
IPアドレス	IPアドレス	192.168.0.1
ハートビートステータス	ハートビートステータス	
ハートビート名	ハートビート名	
ianhb1	ianhb1	正常
ネットワークバージョン解決ステータス	ネットワークバージョン解決ステータス	
ネットワークバージョン解決名	ネットワークバージョン解決名	

受信時刻	発生時刻	サーバ名	モジュール名	イベントID	メッセージ
2007/06/20 20:37:57.808	2007/06/20 20:37:57.791	sss	rc	11	Activating group failover2 has completed.
2007/06/20 20:37:57.752	2007/06/20 20:37:57.736	sss	rm	1	Monitoring bidh2 has started.
2007/06/20 20:37:55.250	2007/06/20 20:37:55.227	sss	rc	10	Activating group failover2 has started.
2007/06/20 20:37:55.257	2007/06/20 20:37:55.217	sss	apisv	30	There was a request to start group(failover2) fro...
2007/06/20 20:37:52.831	2007/06/20 20:37:52.819	sss	rc	11	Activating group failover1 has completed.
2007/06/20 20:37:52.724	2007/06/20 20:37:52.713	sss	rm	1	Monitoring pidw1 has started.
2007/06/20 20:37:50.394	2007/06/20 20:37:50.376	sss	rc	10	Activating group failover1 has started.
2007/06/20 20:37:50.364	2007/06/20 20:37:50.340	sss	apisv	30	There was a request to start group(failover1) fro...
2007/06/20 20:36:30.206	2007/06/20 20:36:30.148	sss	rm	1	Monitoring userw has started.
2007/06/20 20:36:30.126	2007/06/20 20:36:30.078	sss	rm	51	The trial license is effective until 2007/06/20 (...)
2007/06/20 20:36:27.910	2007/06/20 20:36:27.900	sss	nm	6	All servers have been started.
2007/06/20 20:36:27.667	2007/06/20 20:36:27.647	sss	nm	1	Server sss has started.
2007/06/20 20:36:27.667	2007/06/20 20:36:27.646	sss	nm	3	Resource ianhb1 of server sss has started.
2007/06/20 20:36:26.798	2007/06/20 20:36:26.785	sss	nm	5	Waiting until all servers have been started.
2007/06/20 20:36:25.680	2007/06/20 20:36:25.529	sss	pm	1	Starting the cluster daemon.

製品体系 (Windows)

製品名	概要	ライセンス	希望小売価格 (円・税抜)	型番/出荷時期
CLUSTERPRO X SingleServerSafe 1.0 (1CPUライセンス)	HWなどの二重化制御 (監視、復旧)によりシン グルサーバの可用性を 向上	1CPU	100,000	UL1397-001
CLUSTERPRO X SingleServerSafe 1.0 (2CPUライセンス)		2CPU	200,000	UL1397-011
CLUSTERPRO X Database Agent 1.0 (1ノードライセンス)	データベースAPの監視 を強化するオプション	1サーバ	150,000	UL1276-006
CLUSTERPRO X Internet Server Agent 1.0 (1ノードライセンス)	インターネットサービスの 監視を強化するオプショ ン	1サーバ	150,000	UL1276-007
CLUSTERPRO X Application Server Agent 1.0 (1ノードライセンス)	アプリケーションサーバソ フトウェアの監視を強化 するオプション	1サーバ	150,000	UL1276-008
CLUSTERPRO X Alert Service 1.0 (1ノードライセンス)	電子メールにて通報する オプション	1サーバ	100,000	UL1276-005
CLUSTERPRO X SingleServerSafe アップグレードライセンス	X SSS(2CPUライセンス) からCLUSTERPRO X(2CPUライセンス)へ アップグレード	2CPU	400,000	UL1397-002

製品体系(Linux)

製品名	概要	ライセンス	希望小売価格 (円・税抜)	型番/出荷時期
CLUSTERPRO X SingleServerSafe 1.0 (1CPUライセンス)	HWなどの二重化制御 (監視、復旧)によりシ ングルサーバの可用 性を向上	1CPU	100,000	UL4391-001
CLUSTERPRO X SingleServerSafe 1.0 (2CPUライセンス)		2CPU	200,000	UL4391-011
CLUSTERPRO X Database Agent 1.0 (1ノードライセンス)	データベースAPの監 視を強化するオプショ ン	1サーバ	150,000	UL4276-006
CLUSTERPRO X Internet Server 1.0 Agent (1ノードライセンス)	インターネットサービ スの監視を強化するオ プション	1サーバ	150,000	UL4276-007
CLUSTERPRO X Application Server Agent 1.0 (1ノードライセンス)	アプリケーションサー バソフトウェアの監視 を強化するオプション	1サーバ	150,000	UL4276-008
CLUSTERPRO X File Server Agent 1.0 (1ノードライセンス)	ファイルサーバサービ スの監視を強化する オプション	1サーバ	150,000	UL4276-009
CLUSTERPRO X Alert Service 1.0 (1ノードライセンス)	電子メールにて通報す るオプション	1サーバ	100,000	UL4276-005
CLUSTERPRO X SingleServerSafe アップグレードライセンス	X SSS(2CPUライセン ス)から CLUSTERPRO X (2CPUライセンス)へ アップグレード	2CPU	400,000	UL4391-002

システム要件

■ CLUSTERPRO X SingleServerSafe本体

- ✓ ハードウェア: IA32サーバ
 - ディスク容量: 10MB以上
 - メモリ容量: 23MB以上
- ✓ ソフトウェア: Windows Server 2003 (R2含む)、
Red Hat Enterprise Linux AS/ES4(update5)、
Red Hat Enterprise Linux AS/ES5、MIRACLE LINUX V4.0 SP2、
Novell SUSE LINUX Enterprise Server 9(SP3)

■ CLUSTERPRO X SingleServerSafe管理端末

- ✓ ハードウェア: IA32マシン(ブラウザが動作する環境であること)
- ✓ ソフトウェア:
 - OS: Windows Vista、Xp、2003 SP1以降、RHEL4、SUSE9 SP2
 - ブラウザ: Java 2対応ブラウザ、
Java Runtime: Java™ 2 Runtime Environment,
Standard Edition Version 1.5.0_06以降
<http://java.sun.com/j2se/1.4.2/ja/download.html>
などから入手可
- ✓ 管理端末を用意せず、サーバ上に上記環境を設定することも可能

最新の対応OSは、「CLUSTERPRO X SingleServerSafe スタートアップガイド」を参照してください。
<http://www.nec.co.jp/clusterpro/clp/> -> ダウンロード -> X SingleServerSafe

お問い合わせ先

■ お問い合わせ先

- ✓ NEC 第二コンピュータソフトウェア事業部CLUSTERPRO担当
E-mail: info@clusterpro.jp.nec.com

■ 試用版ダウンロード

- ✓ 製品Webページ
<http://www.nec.co.jp/clusterpro/> 「CLUSTERPRO X」をクリック

END

本資料に記載の社名・商品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。